

表2 学習・教育目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応

各学習・教育目標〔(A)～(F)〕が基準1の(1)の知識・能力〔(a)～(h)〕を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入してある。

基準1の(1)の 知識・能力	(a)	(b)	(c)	(d)							(e)	(f)	(g)	(h)
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)				
学習・教育目標														
(A)	◎	◎							○	○	○			
(B)							○					◎		
(C)			◎	◎	◎									
(D)						◎	○	○	○	○				
(E)						○		◎	○	○		○	◎	○
(F)	○	○					◎	○	◎	◎	◎		○	◎

- (A) 総合力：自然環境，人類の文化的・経済的活動と建設技術との関連を常に意識して，多面的に物事を考える能力，人々の幸福と福祉について総合的に考える能力と素養を身につける。
- (B) 説明力：理論的な記述力，口頭発表能力，コミュニケーション能力，及び国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。
- (C) 基礎力：建設技術のための基礎的な数学と物理等の自然科学の素養，及び情報技術に関する知識を習得し建設技術へ応用できる能力を身につける。
- (D) 専門力：建設工学の主要専門分野の知識を習得し，問題解決に応用できる能力を身につける。
- (E) 学習力：大学院での高度な専門技術を習得するための素養，及び新しい技術科学分野を開拓する創造力，生涯自己学習能力を身につける。
- (F) 解決力：土木・建設工学の専門的な知識・技術を結集し，課題を探求し，組み立て，工学的に考察して，解決し，説明する能力を身につける。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果，および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）
- (c) 数学，自然科学および情報技術に関する知識とそれらを用いる能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを用いて問題解決に応用できる能力
- (e) 種々の科学，技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 日本語による論理的な記述力，口頭発表力，討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力
- (g) 自主的，継続的に学習できる能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力

(d)の

- (1) 応用数学
- (2) 自然科学（物理，化学，生物，地学のうち少なくとも1つ）の基礎
- (3) 土木工学の主要分野（土木材料・施工・建設マネジメント／構造工学・地震工学・維持管理工学／地盤工学／水工学／土木計画学・交通工学／土木環境システム）のうち，最低3分野
- (4) 土木工学の主要分野のうち1分野以上において，実験を計画・遂行し，結果を正確に解析し，工学的に考察し，かつ説明する能力
- (5) 土木工学の主要分野のうち1分野以上の演習を通して，自己学習の習慣，創造する能力，および問題を解決する能力
- (6) 土木工学の専門分野を総合する科目の履修により，土木工学の専門的な知識，技術を総動員して課題を探求し，組み立て，解決する能力
- (7) 土木に関連する専門的職業における実務上の問題点と課題を理解し，適切に対応する基礎的能力